

応急手当を身につけておきましょう

9月6日の「救急の日」にちなんで、応急手当の必要性について考えてみましょう。

私たちは、いつ、どこで、突然のケガや病気におそわれるかわかりません。

また、そのような場面について遭遇するかも知れません。

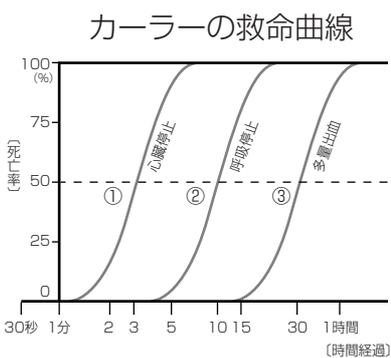
さらに、大規模な災害が発生した場合など、救急隊が不足することや、現場に来ることすらできない場合も考えられます。

このようなとき、バイスタンダー（その付近に居合わせた人）が、応急手当を正しく、速やかに行えば、ケガなどをした方の救命効果が向上し、治療の経過にも良い影響を与えることは医学的にも明らかとなっております。

しかし、誰かを助けるためには、まず、自分自身がケガをしないことが条件になります。そして、応急手当を速やかに行うには、日ごろの訓練（練習）が必要となります。

命を救える時間

右の図は、「カーラーの救命曲線」といい、心臓停止、呼吸停止、多量出血などの緊急事態における経過時間と死亡率の関係を示したものです。



- ①心臓停止では3分間
- ②呼吸停止では10分間
- ③多量出血では30分間

これらの時間放置されると死亡率が約50%になります。このことは、緊急事態が重大であるほど早く適切な処置をしなければ、死亡者が増加することを意味しています。

このまちの課題

次の表は、黒潮消防署から町内の各地区へ救急車が到着するまでのおおよその時間です。カーラーの救命曲線で示した時間と比較すると、救急隊が来るまでの応急手当の必要性がわかります。

また、昨年（平成18年）中の黒潮消防署の救急出動件数は、町全体で502件に上り

	約5分	約10分	約15分	約20分	約25分	約30分
佐賀地域	佐賀上分坂折	熊井喜不破原	熊野浦市野々川小黒ノ川中ノ川荷福川拳ノ川佐賀橋川	若山市野瀬	鈴	
大方地域	灘伊田有井川	蛸川上川口浮津鞭	湊川加持入野下田の口上田の口	加持川野浦出口御坊畑	伴太郎足川馬	米原大方橋川

ますので、1日に1件以上の出動があるということになり、出動要請がかち合うことも考えられ救急車が表の時間どおりに現場に到着するとは限りません。

さらに、近年は遠隔地の医療機関に救急搬送する事例が増えたため、救急車が不在になる時間が多くなっているという点も、現場到着が遅くなる可能性の大きな要因です。

私たちにはできること

これらのことから、バイスタンダーの応急手当がいかに必要なものであるか理解できると思います。

皆さんも日ごろから役立つ応急手当の知識や技術を身につけて、そのときに、誰かを救う側になりたいと思いませんか。

消防署では、止血法や心肺蘇生法などの応急手当講習の申し込みを受け付けています。

講習内容など、詳しいことは黒潮消防署（☎55-2500）にお問い合わせください。

親子防災サバイバルキャンプ参加者募集

【日時】10月13日(土)～14日(日) 1泊2日 (現地集合・解散)
 【場所】高知県立幡多青少年の家
 【募集人数】町内小学校6年生の親子10組(20名)程度 【参加費】無料
 【目的など】この防災キャンプは、災害時に役立つ技能や考え方を身につけるとともに、日ごろからの生活で大切となることを学ぶことを目的に開催します。応募者多数の場合は、先着順にさせていただきますので、ご了承ください。

○お問い合わせ
 本庁総務課 消防防災係
 ☎43-2112(直通)
 佐賀総合支所総務課総務係
 ☎55-3113(直通)